

機械器具(06) 呼吸補助器
一般医療機器 酸素テント 12893000

特定保守管理医療機器

アトム酸素テント

【警告】

＜使用方法＞

- 1) 酸素供給を行う場合は、酸素濃度を規定するために、テント内の酸素濃度の測定と、動脈血中の酸素分圧(PaO₂)または酸素飽和度(SpO₂)の測定を繰り返し行うこと。
[酸素供給が適切でないと、失明、脳障害あるいは死亡を含む、重大な副作用をおこすおそれがある。]

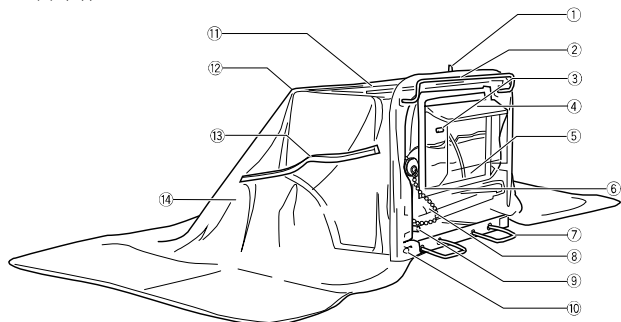
【禁忌・禁止】

- 1) 酸素使用中は本品に火気を近づけないこと。
[爆発や火災の原因になる。]
- 2) 酸素使用中は本品の周囲に発火源を置かないこと。
[本品の周囲でカイロ(使い捨てカイロを含む)、電気・ガスなどの暖房器具、スパークを発生するような機器を使用したり、油、マッチ、揮発性引火物などを置くと、爆発や火災の原因になる。]
- 3) 可燃性麻酔ガスのあるところでは使用しないこと。
[爆発や火災の原因になる。]

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

(1) 本体



番号	名 称	番号	名 称
①	中央突起	⑧	排水樋
②	持手棒	⑨	排水口
③	酸素供給口(酸素希釈器)	⑩	引掛金具
④	蓋	⑪	アーム支持棒
⑤	氷室	⑫	テントアーム
⑥	ネブライザー接続口	⑬	ジッパー
⑦	安定棒	⑭	ビニールフード

(1) 付属品

テントカバー(ビニールフード)
*ネブライザーアダプタ
酸素供給ホース(1m)
排水ホース(1m)

2. 原理

本体前面に取り付けられた酸素供給口(酸素希釈器)からテント内に酸素を供給する。酸素供給口の酸素調整ダイヤルを幼児の位置に合わせると 100%酸素が供給され、成人の位置に合わせると空気と混和した希釈酸素が供給される。温度は氷水によって降下させる。

【使用目的又は効果】

本品は、ベッド上で患者の頭部を覆い、酸素分圧を高めることを目的とした軟性の囲いである。氷室に氷を入れて冷却することで簡易的に環境温度を下げたり、また、ネブライザーでテント内に噴霧することで簡易的に湿度を高くすることができる。

【使用方法等】

(1) 組み立て

テントアームを組み立て、ビニールフードを被せて固定する。

(2) 準備

- ①組み立てたテントを、患者の頭部を中心にして肩まで被せる。
- ②3cmくらいの氷塊を、氷室の八分目まで入れる。
- ③排水口に排水ホースを接続し、排水を受ける容器を用意する。
- ④酸素供給口に酸素供給ホースを接続し、酸素供給源に継ぐ。

(3) 酸素供給

テント内に酸素を供給する。

(4) 加湿およびエアゾール噴霧

湿度を高くしたい場合や、エアゾール吸入治療を行いたい場合は、ネブライザーを使用する。

(5) 清拭・消毒

使用後は取扱説明書に従って、本体およびビニールフードを清拭・消毒し、次の使用に備える。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 酸素は必ず医療用酸素を使用すること。
- 2) 酸素供給時は、必ず酸素流量計または酸素コントローラを使用すること。
- 3) 酸素ポンプを使用する場合は、酸素供給専用の標示がある、検査済みの減圧または調圧バルブを通して接続すること。また、予備の酸素ポンプを準備しておくこと。
- 4) 本品の使用中は、酸素が供給されていることを絶えず監視すること。
- 5) 故障を発見したら勝手にいじらず、修理は専門家にまかせること。
- 6) 本器に衝撃を与えたり、ぶつけたりしないこと。
[故障や破損の原因になる。]

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間: 6 年[自己認証データによる]

保管条件: 以下の条件下で保管すること。

保管温度 -20～45℃

相対湿度 10～85%(結露なきこと)

【保守・点検に係る事項】

【使用者による保守点検事項】

1) 点検

毎回の使用の前に、各部位の基本的な機能作動を確認すること。

2) 清拭、消毒

消毒には次の消毒剤を使用することができる。

消毒剤を染み込ませた柔らかい布で清拭・消毒すること。

- ・クロルヘキシジン水溶液(例: ヒビテン)
- ・塩化ベンゼトニウム水溶液(例: ハイアミン)
- ・塩化ベンザルコニウム水溶液(例: オスバン)

※使用する消毒剤の濃度などは、それぞれの製剤に付いている用法・用量に従うこと。

取扱説明書を必ずご参照ください

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1

TEL: 048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)

取扱説明書を必ずご参照ください